

大会日程表

10月6日 チュートリアルセミナー 13:00~17:00

A会場 B会場 C会場 D会場 E会場

チュートリアル1 チュートリアル2

10月7日 大会第1日目

	特別セッション		一般セッション	
9:30~11:30 (2:00)	多変量解析の最近の発展をめぐって	スポーツデータの計量	データ分析の実践	テスト理論
11:30~13:00 (1:30)	昼休み			
	特別セッション		一般セッション	
13:00~14:30 (1:30)	顔と表情と魅力~その計量~	定性情報のマイニング	データの多次元表示	意思決定・選択
14:30~14:45 (0:15)	休憩			
	特別セッション			
14:45~17:45 (3:00)	魅力工学	法学研究と行動計量学	金融データの解析	音声の知覚と認識

10月8日 大会第2日目

	特別セッション			一般セッション	
9:30~11:30 (2:00)	臨床心理学における認知の計量	統計的日本人研究	空間認識力の測定・計量	MDSと分類	教育・スポーツ
11:30~12:30 (1:00)	昼休み				
12:30~13:30 (1:00)	総会				
13:30~15:00 (1:30)	特別講演 「ベイズ的階層モデル」				
15:00~15:15 (0:15)	休憩				
15:15~17:45 (2:30)	シンポジウム 「環境問題と計量」				
(0:45)					
18:30~20:30 (2:00)	懇親会〔渋谷エクセルホテル東急〕				

全体会場

10月9日 大会第3日目

	特別セッション		一般セッション	
9:30~11:30 (2:00)	脳機能の計量	国民性の国際比較調査	生活	統計理論
11:30~13:00 (1:30)	昼休み			
	特別セッション		一般セッション	
13:00~15:00 (2:00)	QOL測定の信頼性と妥当性	言語の分析	マルチエージェントシミュレーション	ベイズ・ファジィ
15:00~15:15 (0:15)	休憩			
	特別セッション		一般セッション	
15:15~17:45 (2:30)	成長・発達データにおける多変量解析の効用と限界	行動計量学における統計ソフトの役割	政治と社会	医学

A 会場 特別セッション 多変量解析の最近の発展をめぐって

オーガナイザー 柳井晴夫 (大学入試センター) 繁樹算男 (東京大学)

1. PCA から ICA へ? 1
狩野 裕 清水昌平 (大阪大学)
2. 経時データ解析における共分散構造のモデリングと評価 5
藤越康祝 (広島大学)
3. Tube 法と多元配列の分布論 7
竹村彰通 (東京大学) 栗木 哲 (統計数理研究所)
4. 大規模データの多変量解析 11
岩崎 学 (成蹊大学)
5. 行列和の階数に関するいくつかの性質とその応用 13
柳井晴夫 (大学入試センター) 高根芳雄 (マッギル大学)

B 会場 特別セッション スポーツデータの計量

オーガナイザー 石井源信 (東京工業大学)

1. DLT 法によるスポーツ動作の分析 17
井田博史 楠堀誠司 石井源信 (東京工業大学)
2. 体力テストを用いた身体組成の推定 19
稲垣 敦 (大分県立看護科学大学)
3. 「やる気」を反映する脳波 23
小谷泰則 石井源信 (東京工業大学)
4. 事後確率を用いたバスケットボールプレイヤーの運動特性分析 25
小林敬子 (日本女子体育大学) 坂井和明 (法政大学)
5. テニスゲームにおける心理・生理的变化 27
黒田一寿 (東京工業高等専門学校) 石井源信 (東京工業大学)
6. 受傷選手の回復過程における心理・社会的サポートに関する研究 29
五ノ井智子 (目白学園中・高等学校) 石井源信 (東京工業大学)

C会場 一般セッション データ分析の実践

座長 大津起夫 (北海道大学)

1. 大河小説の文体の時系列的変化、大菩薩峠、徳川家康、グイン・サーガ 31
広瀬敏之
2. 同義異音語による源氏物語の文章の特徴化 35
渋川美紀 船田真里子 (白鷗大学)
3. 蓋然性表現語の使用確率範囲測定 37
藤井都百 (千葉大学)
4. 経営者を対象としたアンケート調査に基づく企業の類型化と未来像
ーコーポレート・ガバナンスを中心としてー 39
船田真里子 柳川高行 (白鷗大学)
5. マークアップ言語を利用したデータ記述方式について 41
斎藤大輔 大津起夫 (北海道大学)

D会場 一般セッション テスト理論

座長 村木英治 (Educational Testing Service)

1. テスト得点を用いた項目分析手法「設問解答率分析図」の評価 43
菊地賢一 (大学入試センター)
2. 項目反応理論における Cronbach の α 係数の推定 45
荘島宏二郎 豊田秀樹 (早稲田大学)
3. コンピュータ・シミュレーションを利用した Rasch モデルパラメータの推定 49
熊谷龍一 (新潟大学)
4. Estimation of Item Parameters of the Two-Parameter Logistic Model with SEM Software 51
Yasuo Nishizaki Hideki Toyoda (Waseda University)
5. Modeling Local Item Dependency in the TOEFL Reading and Listening Comprehension Sections: Application of the Full-information Item Factor Analysis 53
Eiji Muraki Yong-Wong Lee (Educational Testing Service)

A 会場 特別セッション 顔と表情と魅力 ～その計量～

- オーガナイザー 山田 寛 (日本大学)
1. 顔の印象をコンピュータで探る 57
原島 博 (東京大学)
 2. 縄文顔・弥生顔を推し量る 59
馬場悠男 (国立科学博物館)
 3. 自分の顔の魅力を自分が計る 61
服部道廣 南孝英 山下睦子 楊井一彦 小島伸俊 (花王)
 4. 顔の表情をはかる 63
山田 寛 (日本大学)

B 会場 特別セッション 定性情報のマイニング –自由回答・自由記述データの取得法と応用可能性–

- オーガナイザー 大隅 昇 (統計数理研究所) 吉村 幸 (岡山大学)
1. ビールに対する自由連想データの解析 65
–WEB 上で取得された自由記述データの特徴抽出の試み–
田村 玄 (ビデオリサーチ) 吉村 幸 (岡山大学)
 2. 新聞広告に対する open answer による評価の分析 69
柳原良造 吉村春彦 (マーケティング・サービス)
 3. 郵送自記式調査と Web 調査による自由回答の分析例 73
渡會 隆 小山裕之 (東京サーベイ・リサーチ) 中谷吉孝 (博報堂)
 4. 自由回答データの取得方法と分析についての検討 –「女性の自立意識」調査データを通して– 75
高倉節子 (長崎純心大学) 村田磨理子 (統計情報研究開発センター)
大隅 昇 (統計数理研究所)

C会場 一般セッション データの多次元表示

座長 宮埜壽夫 (千葉大学)

1. 潜在変数モデルに基づく多次元展開法 77
足立浩平 (甲子園大学)
2. 情報エントロピーの考え方による理想点モデルの構成について 81
宮埜壽夫 (千葉大学)
3. 非線形主成分分析のための適合度基準とその性質 83
大津起夫 (北海道大学)
4. Rule Space Method とニューラルネットワークの比較に関するいくつかの知見 85
林 篤裕 (大学入試センター) Kikumi K. Tatsuoka (Educational Testing Service)

D会場 一般セッション 意思決定・選択

座長 齋藤堯幸 (東京工業大学)

1. 薬局における顧客行動の分析 87
田畑智章 大野高裕 (早稲田大学)
2. 狭域商圈の店舗選択行動の計量分析 89
齋藤堯幸 (東京工業大学) 酒井 理 (東京都労働経済局)
3. 累積的評価に対する多属性意思決定手法 93
松下 裕 (清水建設)
4. リスク態度と注意：状況依存焦点モデルによる計量分析 97
藤井 聡 (京都大学) 竹村和久 (筑波大学)

A会場 特別セッション 魅力工学—魅力の測定と魅力の創造—

オーガナイザー 鈴木督久(日経リサーチ) 朝野熙彦(専修大学)

1. パネル自身の語彙を用いた評定調査 101
小島隆矢(建設省建築研究所)
2. ホール・ステージ音場における演奏者の評価 105
上野佳奈子(東京大学) 小島隆矢(建設省建築研究所) 橋 秀樹(東京大学)
3. ガソリンスタンドの魅力と対応サービスの価格換算 109
宇治川 正人(竹中工務店) 讚井純一郎(日産自動車)
丸山 玄(大成建設) 水野 誠(博報堂)
4. デマテルによる看護婦の化粧意識の解析 113
林 俊克(資生堂) 田久浩志(中部学院大学)
道官克一郎(データアート) 平野広隆(アーキテクト)
コメント1 松田紀之(筑波大学)
5. 評価視点からのデザインプロセスのモデル化 115
井上勝雄(三菱電機) 広川美津雄(東海大学)
6. 牛乳の買いたさの構造を探索 1 ~定性調査による仮説モデルの探索と構築~ 119
真柳麻誉美(女子栄養大学)
7. 牛乳の買いたさの構造を探索 2 ~定量調査によるモデルの検討と解明~ 121
真柳麻誉美(女子栄養大学) 小島隆矢(建設省建築研究所)
8. 魅力的なことばと美味しいワイン—実験的研究 123
水野 誠(博報堂) 片平秀貴(東京大学)
9. 確認的3因子多母集団モデルによる企業イメージの記述 125
鈴木督久(日経リサーチ)
コメント2 豊田秀樹(早稲田大学)

B会場 特別セッション 法学研究と行動計量学

オーガナイザー 野口裕之(名古屋大学) 太田勝造(東京大学)

(I). 司法システム研究

1. 政治性の強い事件において、日本の裁判官は、どうしてこれほどまでに保守的なのか? 127
マーク・ラムザイヤー(Harvard University) エリック・ラスムセン(Indiana University)
2. 裁判官の専門家としての判断: スジ・スワリを手がかりとして 131
松村良之(北海道大学) 太田勝造(東京大学) 岡本浩一(東洋英和女学院大学)
3. 事実認定の規範モデル 133
太田勝造(東京大学)
コメント1 松原 望(東京大学) —統計学の立場から—
コメント2 村山眞維(千葉大学) —法学の立場から—

(II). 実体法(民事・刑事)研究

4. 援助行動に関する法意識 135
木下麻奈子(香川大学)
5. セクシュアル・ハラスメント認知因子と加罰意識—学生調査の分析 137
藤本 亮(活水女子大学)

6. 日本の犯罪状況の変化—犯罪増加・凶悪化・安全神話の崩壊の検討— 139
 岡合幹雄（桐蔭横浜大学）
- コメント3 荒木伸怡（立教大学）—法学の立場から—
 コメント4 野口裕之（名古屋大学）—心理学の立場から—

C会場 特別セッション 金融データの解析

- オーガナイザー 岡太彬訓（立教大学）
1. 貯蓄・投資意識と金融行動 141
 大竹延幸（マーケティング・サービス）
2. 金融機関への選好と利用—年収による違い— 143
 大川英恵 岡太彬訓 中山厚穂（立教大学）
3. 金融商品に対する意識と行動—若年層をターゲットとした金融マーケティングへの示唆— 145
 長田伸一 長田紘明 矢崎直博 天谷真由 守口 剛（立教大学）
4. 金融商品に対するタイプ別消費者行動分析 147
 朝日弓未（立教大学）
5. ライフスタイルと金融商品選択行動の相互関係 149
 荒木和行 荒牧寧志 加藤徹久（東京都立大学）
 生田目崇（東京理科大学） 齊藤 智（三菱銀行）
6. 金融商品選択行動からの消費者特性影響の評価 151
 里村卓也（大阪大学） 佐藤忠彦 佐藤栄作（流通経済研究所）
7. リーテイル金融市場における消費者行動 153
 戸谷圭子（マーケティング・エクセレンス）
8. 金融商品選択確率に応じた顧客ターゲット集団の選別分析について 155
 河野康成（立教大学） 櫻井尚子（早稲田大学） 渡辺美智子（東洋大学）

D会場 特別セッション 音声の知覚と認識

- 座長 前川 喜久雄（国立国語研究所） 内田照久（大学入試センター）
1. パラ言語情報の知覚 157
 前川喜久雄（国立国語研究所） 北川智利（東京都立大学）
2. 音声認識における HMM の利用 161
 古井貞熙（東京工業大学）
3. 日本語の語彙特性データベース 165
 天野成昭 近藤公久（N T T コミュニケーション科学基礎研究所）
4. 音声の発話速度の制御が話者の性格印象に及ぼす影響 169
 内田照久（大学入試センター）
5. 音声認識のための言語モデリング 173
 匂坂芳典（ATR 音声言語通信研究所）
6. 声質の言語表現と記憶 175
 木戸 博（科学警察研究所・宇都宮大学） 粕谷英樹（宇都宮大学）

第2日目(平成12年10月8日) 9:30~11:30

A会場 特別セッション 臨床心理学における認知の計量

- オーガナイザー 丹野義彦(東京大学)
1. PAC分析によるイメージ構造の個人別計量 179
内藤哲雄(信州大学)
 2. 児童の「母親に対する愛着」の測定 181
本多潤子 桜井茂男(筑波大学)
 3. 抑うつが生起に寄与するパーソナリティ特性 -階層的重回帰分析による性差の検討- 183
内藤まゆみ(お茶の水女子大学・日本学術振興会) 木島伸彦(慶応大学)
北村俊則(国立精神・神経センター)
 4. パーソナリティが精神病理に及ぼす影響の二面性-構造方程式モデルを用いて 185
杉浦義典(東京大学・日本学術振興会)
 5. 被害観念の発生に関する研究-どんなストレスと素因が被害観念の発生を予測するのか- 187
森本幸子(東京大学) 丹野義彦(東京大学) 坂本真士(大妻女子大学)

B会場 特別セッション 統計的日本人研究 -「日本人の国民性調査」の半世紀-

- オーガナイザー 坂元 慶行(統計数理研究所)
1. 日本人の考えはどう変わったか-20世紀後半期の意識動向- 189
坂元慶行(統計数理研究所)
 2. 質問項目のコウホート分析 ~ベイズ型コウホートモデル(XVI)~ 191
中村 隆(統計数理研究所)
 3. 継続調査項目の同時数量化 193
土屋隆裕(統計数理研究所)
 4. 国民性調査における調査精度の経時的比較 195
前田忠彦(統計数理研究所)

C会場 特別セッション 空間認識力の測定・計量

- オーガナイザー 鈴木賢次郎(東京大学) 椎名久美子(大学入試センター)
1. 図学関連教育と空間認識力 -MCTによる調査結果を基に- 199
鈴木賢次郎(東京大学)
 2. MCTによって評価される空間認識力(1) -心理計量的アプローチ- 201
菅井祐之 鈴木賢次郎(東京大学)
 3. MCTによって評価される空間認識力(2)-実写映像両眼立体視MCTとの比較による考察- 203
斉藤孝明(青山学院大学) 鈴木賢次郎(東京大学)
 4. 仮想切断面実形視テスト(MCT)で用いる立体の心理的類似度 205

堤江美子 市川初音 門脇奈々 (大妻女子大学)

5. Mental Rotations Test によって評価される空間認識力 209
椎名久美子 (大学入試センター)
6. 図学授業により形成する読図技能 —読図問題の解決過程の測定— 211
梶山喜一郎 (福岡大学)

D 会場 一般セッション MDS と分類

- 座長 今泉 忠 (多摩大学)
1. 評価次元の検出を図る MDS 213
今泉 忠 (多摩大学)
2. 世代間職業移動の変化—非対称クラスター分析による— 215
岡太彬訓 (立教大学)
3. EFASID —algorithms and applications— 217
Naohito Chino (Aichi Gakuin University)
4. 非対称 MDS における対称次元と非対称次元 1 221
岡太彬訓 (立教大学) 今泉 忠 (多摩大学)
5. 非対称 MDS における対称次元と非対称次元 2 223
今泉 忠 (多摩大学) 岡太彬訓 (立教大学)
6. 凝縮型階層的分類結果のシミュレーションによる評価と視覚的表現 225
竹内光悦 宿久 洋 稲田浩一 (鹿児島大学)

E 会場 一般セッション 教育・スポーツ

- 座長 岩坪秀一 (大学入試センター)
1. ピアニストの進化論と POSA 229
木村通治 (埼玉短期大学)
2. 厚生評価論と学力評価論の比較検討 231
福本潤也 清水英範 (東京大学)
3. 運転適性検査における受検回数と合否判定基準の検討 235
喜岡恵子 (鉄道総合技術研究所)
4. 同一試験問題の記述式解答と多肢選択式解答との関連について
—共通試験の—国語問題解答結果を素材として— 237
岩坪秀一 (大学入試センター)
5. ダンス公演出演者の公演前後における心理状態の変動 241
朴 淳香 杉山哲司 (日本女子大学)
6. スポーツ選手の満足意識の構造 245
江口 潤 ○牛沢賢二 (産能大学)

特別講演

「ベイズ的階層モデル」

Donald B. Rubin (Harvard University)

司会 岩崎 学 (成蹊大学)

シンポジウム

「環境問題と計量」

1. 地球変動の本質 – われわれが立ち向かう問題とは – 247
市川惇信 (システム科学者)
2. 「科学的方法」は常に正しいか – 「水俣」の論点 – 249
松原望 (東京大学)
3. 地球環境の計量と予測 却オゾン層を中心として却 251
中根英昭 (国立環境研究所)
4. 環境リスクに関する認知と行動の心理的評価 255
楠見孝 (京都大学)

司会 繁榊算男 (東京大学)

A会場 特別セッション 脳機能の計量

オーガナイザー 杉下守弘 繁樹算男(東京大学)

1. 機能的磁気共鳴画像を用いた脳機能の計量 切block design切 257
片野田耕太 杉下守弘(東京大学)
コメント1 繁樹算男(東京大学)
2. 機能的磁気共鳴画像を用いた脳機能の計量2 -Event-related design- 259
福永雅喜 田中忠蔵 恵飛須俊彦 梅田雅宏 渋谷芳明 渡辺康晴 森 勇樹
青木伊知男(明治鍼灸大学) 成瀬昭二(京都府立医科大学)
コメント2 矢島美寛(東京大学)
3. 脳磁図を用いた脳神経活動の計量 263
湯本真人(東京大学) 齋藤 治 金子 裕(国立精神・神経センター)
中原一彦(東京歯科大学)
コメント3 鎌倉稔成(中央大学)

B会場 特別セッション 国民性の国際比較調査-計量的文明論に向けて-

オーガナイザー 吉野諒三(統計数理研究所)

1. 連鎖的比較方法論の実践パラダイム 265
吉野諒三(統計数理研究所)
2. 国民性の国際比較における日系人調査の意味 269
林 文(東洋英和女学院大学)
3. 米国西海岸日系人調査の実際 271
山岡和枝(帝京大学)
4. 7カ国における自然観・環境観の比較分析 273
鄭 躍軍(統計数理研究所)

C会場 一般セッション 生活

座長 岸野洋久 (東京大学)

1. 花の嗜好の取り合わせの統計解析 275
談 小健 大森 宏 高野 泰 岸野洋久 (東京大学)
2. 植物を用いた屋外景観の調査 277
堀田真一 大森 宏 岸野洋久 (東京大学)
羽生和紀 (日本大学) 林知己夫 (統計数理研究所)
3. 居住空間性能の評価について 281
小木 元 (生命工学工業技術研究所)
4. 食行動の刷り込みと現在・未来への影響 285
小林敬子 (日本女子体育大学)
5. 家族としての生活行動パターンの類型化について 287
中村和男 山田耕一 河田春奈 (長岡技術科学大学)
6. 相互作用を想定した対人判断過程の研究手法の検討とソフトウェア開発
-Nowak & Vallacher の Mouse Paradigm の拡張- 291
渋谷和彦

D会場 一般セッション 統計理論

座長 小笠原春彦 (小樽商科大学)

1. 要因配置実験の初等数理 293
柴山忠雄 (前名古屋工業研究所)
2. 2種類の積雪荷重推定曲線のブートストラップ有意差検定 297
桜井裕仁 田栗正章 (千葉大学)
3. 変数の影響分析を利用した変数選択 301
森 裕一 (岡山理科大学) 飯塚誠也 垂水共之 田中 豊 (岡山大学)
4. A Latent Variable Model for non-ignorable non-response 303
Takahiro Hoshino (The University of Tokyo)
5. 構造方程式モデルにおける推定された標準誤差の漸近標準誤差 307
小笠原春彦 (小樽商科大学)
6. 反復測定 of 準実験データにおける処遇の効果の検出力
-構造方程式モデルによるアプローチ- 309
杉澤武俊 (東京大学)

A会場 特別セッション QOL測定の信頼性と妥当性

- オーガナイザー 丸山久美子(聖学院大学)
1. 臨床評価におけるQOLの意義 311
大橋靖雄 森田智視(東京大学)
 2. QOL評価質問票の信頼性と妥当性 -臨床現場での現状 313
萬代 隆(国立循環器病センター)
 3. 呼吸器疾患における健康関連QoLとその評価の実際 315
西村浩一(京都大学)
 4. QOL測定の信頼性と妥当性 -痴呆老人の場合 317
齋藤堯幸(東京工業大学)

B会場 特別セッション 言語の分析

- オーガナイザー 江川 清(国立国語研究所) 村上征勝(統計数理研究所)
1. 古典和歌データにおけるテキストマイニング 319
竹田正幸(九州大学) 福田智子(福岡女学院大学) 南里一郎(純真女子短期大学)
 2. 『源氏物語』における地の文と会話文の比較分析 323
村上征勝(統計数理研究所) 今西祐一郎(九州大学)
 3. 異体字選択調査の信頼性-再調査法による検討- 325
横山詔一 笹原宏之(国立国語研究所) 當山日出夫(花園大学)
 4. 世論調査に見る日本語の現在 327
野村敏夫(文化庁国語課)
 5. 英語優位の社会と英語のイメージ -世界28カ国の国際比較- 331
米田正人(国立国語研究所)

C会場 特別セッション マルチエージェントシミュレーション

- オーガナイザー 田中明彦 山影進 (東京大学)
1. 遊園地における混雑情報と入場者の行動 335
服部正太 木村香代子 辺見和晃 (構造計画研究所)
 2. 達成動機づけと誇り 337
藤田英樹 (東京大学)
 3. コミュニケーション競争モデル—ABSによる組織形成メカニズム分析— 339
桑嶋健一 高橋伸夫 (東京大学) 玉田正樹 (構造計画研究所)
 4. 社会契約論的国家生成と国際秩序の動態 343
山本和也 (東京大学)
 5. 古典的国際システムの安定性 345
田中明彦 原田至郎 (東京大学)

D会場 一般セッション ベイズ・ファジィ

- 座長 竹村和久 (筑波大学)
1. ベイズ推定を用いたノンパラメトリック回帰分析 347
中島 晃 (北海道大学)
 2. 適合ベイズモデルの位相空間上での連続性をブートストラップ法で計測した擬似経験的モデル
選択による正規分布に近い密度函数の最適推定 349
岸 清武 (SSC)
 3. 欠損値を含むデータのモデル平均による予測 353
橋本貴充 (東京大学) 萩生田伸子 (埼玉大学) 星野崇宏 繁樹算男 (東京大学)
 4. 因子分析モデルの母数推定値におけるベイズ解析 357
植野真臣 (長岡技術科学大学)
 5. SEMモデルのベイズ推定の精度について 359
繁樹算男 星野崇宏 (東京大学)
 6. Mental Ruler Theory : A model of decision making and some empirical findings 363
Kazuhisa Takemura (University of Tsukuba)

A会場 特別セッション 成長・発達データにおける多変量解析の効用と限界

オーガナイザー 無藤 隆 (お茶の水女子大学) 狩野 裕 (大阪大学)

1. 中学生の学校への意欲の縦断的検討 367
無藤 隆 角谷詩織 (お茶の水女子大学)
2. 縦断データにおける誤差について 371
氏家達夫 (福島大学)
3. 発達研究で統計的方法のバイオレンスはどこまで許されるのか 373
松田浩平 (文京女子大学)
4. 多変量縦断データによる発達の变化の分析 375
村上 隆 (名古屋大学)
5. 熟達の過程 -潜在成長モデルによる野球データの解析- 379
清水和秋 (関西大学)
6. Explaining SEM as mixed effect model in growth curve analyses 383
Eisuke Segawa (University of Illinois)
7. 対応のある共分散行列の同時分析 -震災ストレスデータの経時分析- 387
狩野 裕 豊本満喜子 (大阪大学) 服部祥子 (大阪薫英女子短期大学)
山田富美雄 (大阪府立看護大学) 島井哲志 (神戸女学院大学)

B会場 特別セッション 行動計量学における統計ソフトの役割

オーガナイザー 垂水共之 (岡山大学) 森 裕一 (岡山理科大学)

第1部 統計ソフトはどう発展してきたか?

1. 計算機環境の変化と統計ソフトウェアの変遷 391
山口和範 (立教大学)

第2部 統計ソフトは行動計量学の各分野でどのように役立ってきたか?

2. マーケティングに於ける統計ソフトの活用 393
柳原良造 (マーケティング・サービス)
3. SPSS と心理学の統計処理 395
堀 啓造 (香川大学)
4. JMP によるデータ解析教育 397
岸本淳司 (慶応大学)
5. 医学系大学教育のツールとして利用したデータ解析言語 S 399
坪田信孝 (広島大学)

第3部 統計ソフトはどうあるべきか?

6. 統計ソフトの過去・現在・未来 401
垂水共之 (岡山大学)
指定討論者 大隅 昇 (統計数理研究所)

C会場 一般セッション 政治と社会

- 座長 海野道郎 (東北大学)
1. リサイクルの実行に対する阻害要因—仙台市ごみ調査の分析— 403
篠木幹子 荒井貴子 海野道郎 (東北大学)
 2. ネット犯罪の特性から見た法的・社会的対応の必要性—日米犯例データ構築による多次元分析— 407
浅野美代子 神部順子 (大東文化大学) 山田文道 小笹芳文 (東京理科大学)
 3. 原子力発電に対する態度—JCO 臨界事故の影響の男女差— 411
北田淳子 (原子力安全システム研究所) 林知己夫 (統計数理研究所)
 4. 国連平和維持活動の生存分析 415
林 光 (東京大学)
 5. 公衆の政策決定過程に対する評価と民主主義観の関係について
—国民投票による決定か国会による議決か— 419
松田年弘 (原子力安全システム研究所) 林知己夫 (統計数理研究所)
 6. 青年の社会的危機意識構造に関する比較研究 421
—アイルランド人・日本人大学生の価値観と危機意識—
丸山久美子 (聖学院大学)
 7. 論理の反応構造と組織転位 —転位と群— 423
香村由紀 (アネルバ) 木村良晴 (京都工芸繊維大学)

D会場 一般セッション 医学

- 座長 久保武士 (水戸済生会総合病院)
1. 会話式教学ソフト Speakeasy による on-site 臨床データ解析 427
渡辺文雄 (板橋中央総合病院)
 2. 脳卒中片麻痺患者の歩行移動動作評価テストの検討 429
清水和彦 松永篤彦 清水 忍 長澤 弘 (北里大学)
 3. 医用画像読影時の診断動態特性モデル 433
松本 徹 (放射線医学総合研究所) 古川 章 福田信男 (放医研) 吉原信幸 (国際医療福祉大)
諏訪孔二 (日本歯科大) 藤野雄一 (NTT サイバーソリューション研究所)
柿沼龍太郎 (国立がんセンター東病院) 曾根脩輔 (安曇総合病院)
 4. 医療事故発生についての一考察 —異型輸血を例として— 435
久保武士 (水戸済生会総合病院) 重光貞彦 松井良樹 (筑波大学)
高橋真理 (愛知県立看護大学) 大室律子 (千葉大学)
 5. An epidemic model for explaining HTLV-I type infection system 439
Nobuoki Eshima (Oita Medical University) Minoru Tabata (Kobe University)
Shigeru Karukaya (Kurume University)
 6. 全国意識調査による健康観に関する社会医学的研究 441
朝日弓未 (立教大学) 眞野喜洋 (東京医科歯科大学) 生田目崇 (東京理科大学)
津田紫緒 (東京医科歯科大学) 荻原隆二 (健康・体力づくり事業財団)
 7. 社会階層と健康悪化のプロセスに関する縦断的研究 443
中田知生 (北星学園大学)